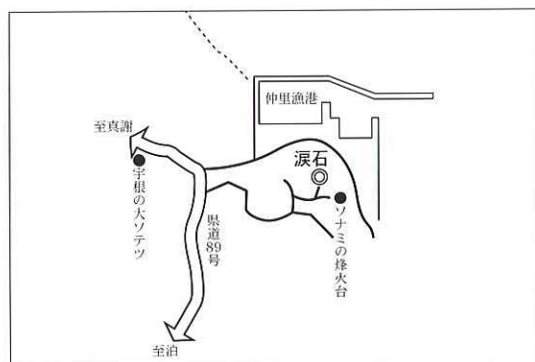




# 涙

# 石

指定名称 なみだ いし 涙石 (町指定史跡)  
 所在地 久米島町字宇根スナミ原835  
 指定年月日 昭和47年9月2日  
 (旧仲里村指定)  
 所有者 久米島町



涙石はソナミの烽火台跡近くにあつて、がさしわかちやら 笠末若茶良の伝説にまつわる石である。とん な はぐすく 登部那覇城に笠末若茶良という若按司がいた。若茶良は立派な風采と聡明な頭脳の持ち主で、島の人々から敬愛されていた。その評判が父伊敷索按司よりも良かったので、伊敷索按司のねたみをかい、母親は出身地の粟国島へ追放され、自分の居城を伊敷索按司に攻撃される羽目になった。武勇すぐれた彼は、この戦いに勝ったが、母親の身の上を案じ、毎日ソナミの丘ま

で行って石の上にすわり、母親のいる粟国島を眺めて泣き暮らしていたという。その石の上には深さ五寸ほどの穴があつて若茶良の涙はその穴に溜まつて乾くことがなかったので涙石と呼ばれる。(又涙石は、この石とは別に近くのふもとにあつたが、護岸の石材として割られたという説もある)